

令和7年度 第2回 流山市立八木中学校区 学校運営協議会 議事録

1. 会議概要

開催日 令和7年10月20日(月)

会 場 流山市立八木南小学校

主な議題 ①講話「児童生徒の安心・安全についての現状と課題について」
②委員による協議

2. 講話

「児童生徒の安心・安全についての現状と課題について」

講師:佐々木 淳也 氏(流山市青少年指導センター所長)

■ 青少年指導センターの概要

- 千葉県内に17か所のみ設置(流山市もその1つ)
- 青少年の定義:
 - 一般的 :12~15歳
 - 青少年保護条例 :18歳未満の未婚の若者
 - 青少年指導センター:7~20歳
- 補導権はないが、健全育成と未然防止に重点を置いて見守り活動を行っている

■ 主な活動内容

活動	内容
補導活動	地域パトロール、事件・非行の未然防止(補導員:一般105名 学校41名)
社会環境浄化	納涼祭でのパトロール、地域状況の確認
学校警察連絡協議会 (学警連)	不審者・犯罪情報の共有、学校と警察の橋渡し
相談活動	7~20歳を対象に、電話・対面での相談対応
ネットパトロール	SNSの投稿監視(学校ジャージ姿などの写真による個人や居住地特定リスク)

■ 犯罪・非行の傾向

- ・ 千葉県全体：刑法犯微増、初発型非行が多い
 - 万引き(48.2%)、自転車盗(21.3%)、置き引き、バイク盗など
- ・ 高校生：49.4%、中学生：16.1%
- ・ 流山市(R7年1～7月)：自転車盗147件(うち95件が無施錠)
- ・ 大学生の飲酒・喫煙補導が県平均より多く、特におおたかの森駅周辺で集まりが見られる→小中学生への影響を懸念

■ 八木中学校区の状況

- ・ 不審者情報令和6年度：声掛け2件、付きまとい1件(市内では比較的少ない)
- ・ 令和7年度10月現在まで不審者情報0件→引き続き継続した取り組みが重要
- ・ 危険箇所：第三コミュニティ交差点、八木中東門及びその奥の交差点、変電所付近、長崎小裏の坂道
- ・ 防犯協力の家(H5年～)が設置され、地域の安心を支える体制あり

■ 防犯活動における地域連携の重要性

- ・ 「人の目」が最も有効：買い物や散歩、ジョギングも防犯活動となる
 - ・ 「見える化」：パトロール中の表示、防犯ベスト着用、ポスター掲示
 - ・ チームで対応：学校・保護者・地域・警察などが一体となって活動
 - ・ 「安全は一日にして成らず」：継続が抑止力につながる
-

3. 協議・意見交換

■ 八木中学校長

- ・ 八木中の自転車通学は約93%
- ・ 生徒がなぜ自転車通学を許可されているのか、その背景を語り継ぐ必要がある
- ・ 「ルールが守れないなら徒歩通学に戻すべき」という指導の方針も視野に

■ 地域委員

- ・ 事件があったことが発端で防犯活動が始まった
- ・ 「防犯協力の家」にはワッペンを貼り、子どもが安心して逃げ込める環境を整備
- ・ 長崎小や八木団地、宮園地区などにもスクールガードを配置

■ 委員

- ・ 不登校が非行に直結していた時代もあったが、現在の状況はどうか？

■ 指導センター所長

- ・ 現在、市内では不登校と非行はあまり関係がない
- ・ 理由の多くは、不安・家庭環境・体調不良など
- ・ 不登校支援として「フレンドステーション」も整備
- ・ 一方、やんちゃな子が他市の生徒とおおたかの森駅に集まりがち
- ・ 児童相談所を出た子たちが仲間意識で繋がることもある（良くも悪くも）

■ 八木南小学校長

- ・ 通学路での交通事故の懸念
- ・ 危険だと感じる道路や箇所について情報提供をお願いしたい

■ 委員より(地域)

- ・ 危険と感じる場所：
 - 変電所裏
 - 日乃出紙工付近・迂回路
 - 古間木の細い坂道
 - 宮園の十字路(標識の有無がわかりづらい)

■ 委員

- ・ 共働き家庭が増え、親子のコミュニケーションが減少している
- ・ 地域での見守りがこれまで以上に重要

■ 委員

- ・ 子どもが自宅の住所や電話番号を覚えていないケースがある
- ・ 休日中の事故対応時に保護者に連絡が取れず困った経験あり
- ・ 基本情報を家庭でも指導・確認してほしい

■ 長崎小学校長

- ・ 長崎小学校門前は交通量が多いが、八木中生は自転車マナーが良好で、押して通行している

■ 協議会会長

- ・ パトロール車のステッカーが小さく、わかりづらい
→ 青少年指導センターの活動が視認できるよう、大きな表示を検討してほしい
- ・ 八木中学区は不審者情報が少ないが、何か起きたときに大きな問題に発展しやすい
- ・ 地域全体で提案を持ち寄り、安全対策を強化していく必要がある

4. 今後の取組の方向性(提案含む)

- 危険箇所の情報を引き続き学校に共有
 - 自転車のツーロックの啓発活動を地域ぐるみで実施
 - 児童に住所・電話番号を覚えさせる指導の強化
 - 地域の協力と継続的な防犯意識の共有が不可欠
-

5. 閉会・次回開催

- 次回(第3回)学校運営協議会は:
令和8年2月5日(予定)